

診療科の概要

当科は常勤医師9名で、消化器外科、乳腺外科、腹部救急外科をメインに、さまざまな外科疾患に対応しています。各関連学会の指導医・専門医が複数名在籍しており、診療・手術の質の向上に努めています。

当外科では低侵襲手術を積極的に導入しています。腹腔鏡手術や、さらに精緻な手術が可能になる、da Vinci Xi surgical system によるロボット支援手術を積極的に行っており、道内でも有数の成績をあげています。

消化器領域では消化器内科と定期的にカンファレンス（症例検討会）を実施しており、必要な症例に対しては術前術後化学療法も含めた集学的治療で成績の向上を目指しています。また、多くの予定手術で、術前から周術期多職種連携チームが患者様、ご家族様に関わり、必要な支援を速やかに開始することで、術後の早期回復や、周術期合併症率の低下を目指しています。

肥満症に対する減量手術を行っている、道北で唯一の認定施設です。全国で約30施設しか認定されていない、日本肥満症治療学会の認定施設となっております。

乳腺領域も3名の乳腺専門医が在籍し、最新の治療を提供しています。

当外科は救命救急センターとも連携し、急性腹症や重症外傷などに対し365日24時間体制で対応しています。

主な対象疾患

<食道がん>

ほとんどの症例で、低侵襲で精緻な手術が可能な、ロボット支援下手術を行っています。頸部リンパ節郭清時には耳鼻咽喉科も手術に入って協力していただくことで、根治性の向上に努めています。術後反回神経麻痺を回避する目的で、必要時には術中NIM (Nerve Integrity Monitoring System) を使用しています。

<胃がん>

胃がんに対する胃切除術は、最近ではほぼ9割以上の症例でロボット支援下手術を実施しています。また、可能な限り胃全摘は回避し、ロボット支援下幽門側/噴門側胃切除術を選択することで、根治性を担保しつつ機能温存を目指すよう努めています。当初切除困難と診断された症例で、化学療法を行ったことで病変縮小が得られ、引きつづいて切除手術を行うことができた症例が徐々に増えてきています (Conversion Surgery)。

<大腸がん>

高度進行がん以外、結腸がんでは約8割、直腸がんではほぼ9割以上の症例でロボット支援下手術を実施しています。必要時にはICG (インドシアニンググリーン) 蛍光法を用いて腸管の血流評価を行い、縫合不全率の低下に努めています。低位の直腸がんでは最新の術式であるtaTME (transanal Total Mesorectal Excision : 経肛門的直腸間膜切除術) を行い、根治性の確保と肛門温存率の向上を目指しています。

<肛門疾患>

痔疾患など肛門領域の診断・治療を行っています。内痔核に対するALTA4段階硬化療法 (ジオン注射) 実施資格を有する医師も在籍しており、痔のタイプによっては切らずに注射で、短期間で痛みも少ない治療が可能です。

<肝胆膵疾患>

難治性がんの代表である膵臓がんに対し、膵頭十二指腸切除術をはじめとした高難易度手術を行っています。とくに難易度の高い手術においては、肝胆膵領域で国内トップレベルである北海道大学病院消化器外科学教室IIと連携し、治療にあたっています。

消化器内科とのカンファレンスに基づいて、必要な症例に対し消化器内科で術前化学療法を実施しています。初診時根治手術困難と判断された症例でも、化学療法を行うことで病変が縮小し、根治手術を検討できるようになる、Conversion Surgery症例も増えています。

胆道がんに対する高難易度手術も行っています。転移性肝がんや、原発性肝がん (肝細胞がんなど) に対する肝切除術も実施しています。症例によっては傷が小さく低侵襲である腹腔鏡下肝切除術も選択しています。

<胆石症、胆嚢炎>

胆石症などに対する腹腔鏡下胆嚢摘出術を、年100例以上実施しています。急性胆嚢炎では、患者様の状態によっては急性期手術 (早期腹腔鏡下胆嚢摘出術) を積極的に実施し、病期期間の短縮を目指しています。

<急性虫垂炎>

手術適応の場合、ほとんどの症例で腹腔鏡下虫垂切除術を行っています。膿瘍形成性虫垂炎では、保存療法で炎症が軽快し退院したあとで、あらためて数週間後に再入院し腹腔鏡下虫垂切除術を行う治療戦略もあります (Interval Appendectomy : 待機性虫垂切除術)。

<そけいヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、その他ヘルニア>

そけいヘルニアに対しては、多くの症例で腹腔鏡下ヘルニア修復術を第一選択としています。症例によっては前方アプローチ法で対応します。

腹壁癒痕ヘルニアに対しても、多くの症例で、癒着防止加工がなされたメッシュを腹腔内に留置する腹腔鏡下ヘルニア修復術 (IPOM法 : IntraPeritoneal Onlay Mesh や、IPOMプラス法) を行っています。

その他、再発ヘルニアや特殊なヘルニアに対する手術も行っています。

<乳がん>

乳腺専門医3名による診療体制のもと、診断から手術、薬物療法まで一貫した乳がん診療を行っております。月曜日から金曜日まで毎日新患外来を開設し、迅速な診断と治療開始に努めています。

手術は乳房温存術・乳房全摘術のいずれにも対応しており、形成外科と連携した乳房再建術も施行可能です。

近年、乳がん薬物療法は新規薬剤の登場により大きく進歩しており、治療選択はますます複雑化しています。当科では、乳腺専門医による適切な治療選択に加え、総合病院としての強みを活かした他科との密な連携により、幅広い治療に対応しております。

地域の先生方と連携しながら、安心してご紹介いただける診療体制を整えております。

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

＜減量・代謝改善手術＞

糖尿病・高血圧・高脂血症・睡眠時無呼吸症候群のいずれかを伴う高度肥満症に対する、減量・代謝改善手術を保険診療として行っております。道北地域で唯一の施行施設です。また、全国でも約30施設ほどしか認定されていない、日本肥満症治療学会の認定施設となっております。道内では北海道大学病院と当院のみが認定されており、安全に手術を実施する体制が整っております。手術を希望されない症例に対しても当院糖尿病・内分泌内科と連携し、栄養・運動・薬物療法を効果的に行っていきます。

＜救急＞

当院は救命救急センターを有しており、ドクターヘリや救急車による救急搬送症例など、さまざまな重症救急症例が集中しますが、当外科では救急症例に対し24時間365日体制で対応しています。

急性腹症の中には、消化管穿孔、絞扼性腸閉塞、進行癌に伴う急性腹症、ヘルニア嵌頓、汎発性腹膜炎といった、必要時に緊急手術を行わなければ死に至る重症例も含まれます。その場合、救急医の初療につづいて、当科でも速やかに診断、判断し、必要に応じて即時、緊急手術を実施しています。

また、交通事故や転落事故などといった重症外傷/多発外傷に対し、三次医療機関として高度な医療（全身管理や集中治療、必要時の緊急手術など）を提供しています。重症外傷患者の受け入れが決定した時点で、院内トラウマコールが発令され、外科系医師だけでなく救急医や麻酔科医、放射線科、救急/手術室看護師、臨床工学部、輸血部、検査部、放射線科といった多くのスタッフが集結し、チーム医療で迅速に診断・治療を開始する体制が構築されています（ATST：旭川赤十字病院外傷外科チーム）。

当科には救急関連学会の教育医、専門医、認定医、インストラクター、DMAT有資格者が複数名在籍し、道北の救急医療を支えています。

診療予定表

（初診：8：00～11：00）

	月	火	水	木	金
一般外来	青木	東海林	市村	東嶋	担当医
	栗原	山本	石塚	-	-
	担当医	担当医	-	-	-
乳腺外来	吉田	吉田	休診	吉田	吉田
	-	東海林	-	-	-

山本：減量サポート外科治療センター 内視鏡外科外来
14時～16時 予約制

市村：肛門外来

* 外来患者で手術目的の方は12:00以降の診察になります。
* 専門外来（減量サポート・外科治療センター・内視鏡外科）来は毎週火曜日14:00～16:00予約が必要です。

診療実績（2025年1月～12月）

項目	患者数
外来新患数	507
外来延数	6,502
新入院数	867

主な手術実績（2025年1～12月）

項目	件数
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径5cm未満）	16
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径5cm未満）	16
創傷処理（筋肉、臓器に達しないもの・長径5cm以上10cm未満）	2
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径5cm未満・真皮縫合）	1
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径5cm以上10cm未満・真皮縫合）	1
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径10cm以上）（その他）	1
創傷処理（筋肉、臓器に達するもの・長径10cm以上・真皮縫合）（その他）	1
皮膚切開（長径10cm未満）	3
デブリードマン（100cm ² 未満）	1
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術（躯幹）	1
関節脱臼非観血的整復術（小児肘内障）	1
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm未満）	1
乳腺腫瘍摘出術（長径5cm以上）	1
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（マンモグラフィ又は超音波装置によるもの）	84
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・腋窩部郭清を伴わないもの）	24
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除併施しない）	19
乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わないもの）	17

糖尿病・
内分泌内科

呼吸器
内科

消化器
内科

循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科

脳神経
内科

総合
診療科

外科

呼吸器
外科

脳神経
外科

整形外科

形成外科

心臓血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科

麻酔科
救急科

糖尿病・内分泌内科
呼吸器内科
消化器内科
循環器内科
腎臓内科
血液・腫瘍内科
脳神経内科
総合診療科
外科
呼吸器外科
脳神経外科
整形外科
形成外科
心臓血管外科
泌尿器科
耳鼻咽喉科
小児科
皮膚科
眼科
産婦人科
歯科口腔外科
放射線科
病理診断科
麻酔科救急科

乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術） （内視鏡下によるものを含む）	5
乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除併施有り）	4
乳腺悪性腫瘍手術（単純乳房切除術）	3
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（頸部、胸部、腹部の操作によるもの）	3
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（胸部、腹部の操作によるもの）	2
抗悪性腫瘍剤静脈内持続注入用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	29
中心静脈注射用植込型カテーテル設置（頭頸部その他）	2
リンパ節摘出術（長径3cm未満）	4
リンパ節摘出術（長径3cm以上）	2
腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要とす）	1
ヘルニア手術（鼠径ヘルニア）	7
ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	3
ヘルニア手術（臍ヘルニア）	2
ヘルニア手術（腹壁瘢痕ヘルニア）	2
腹腔鏡下ヘルニア手術（腹壁瘢痕ヘルニア）	2
腹腔鏡下ヘルニア手術（大腿ヘルニア）	2
腹腔鏡下ヘルニア手術（閉鎖孔ヘルニア）	1
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	37
試験開腹術	4
ダメージコントロール手術	2
腹腔鏡下試験開腹術	18
腹腔鏡下試験切除術	4
限局性腹腔膿瘍手術（ダグラス窩膿瘍）	1
経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	1
急性汎発性腹膜炎手術	13
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	9
後腹膜腫瘍摘出術（腸切除を伴わないもの）	1
腹腔鏡下大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出	4
後腹膜悪性腫瘍手術	1
胃縫合術	1
腹腔鏡下胃・十二指腸潰瘍穿孔縫合術	6

内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	1
胃局所切除術	1
腹腔鏡下胃局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）	1
胃切除術（単純）	1
胃切除術（悪性腫瘍）	1
腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍）（内視鏡手術用支援機器使用）	17
腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術）（手術用支援機器）	3
腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）	1
腹腔鏡下胃縮小術（スリーブ状切除によるもの）	4
腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍）（内視鏡手術用支援機器使用）	10
胃腸吻合術（ブラウン吻合を含む）	6
腹腔鏡下胃腸吻合術	5
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	4
腹腔鏡下噴門形成術	2
胆嚢摘出術	6
腹腔鏡下胆嚢摘出術	109
胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢に限局する）	3
総胆管胃（腸）吻合術	5
内視鏡的胆道結石除去術（その他のもの）	1
肝嚢胞切開術	1
肝嚢胞摘出術	1
肝切除術（部分切除）（単回の切除によるもの）	4
肝切除術（部分切除）（複数回の切除を要するもの）	1
肝切除術（2区域切除）	1
腹腔鏡下肝切除術（部分切除）（単回の切除によるもの）	1
脾体尾部腫瘍切除術（周辺臓器の合併切除を伴う腫瘍切除術）	2
脾体尾部腫瘍切除術（脾尾部切除術）（脾同時切除）	1

脾体尾部腫瘍切除術（脾尾部切除術） （脾温存）	1
脾体尾部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢 郭清等を伴う腫瘍切除術）	1
腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術（脾同時切 除）	1
脾頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭 清等を伴う）	7
脾頭部腫瘍切除術（脾頭十二指腸切除	3
脾頭部腫瘍切除術（血行再建を伴う場	2
脾管空腸吻合術	1
腹腔鏡下脾摘出術	1
破裂腸管縫合術	4
腸管癒着症手術	15
腹腔鏡下腸管癒着剥離術	18
小腸切除術（その他のもの）	13
腹腔鏡下小腸切除術（その他のもの）	10
腹腔鏡下小腸切除術（複雑なもの）	1
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴 わないもの）	33
腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴 うもの）	16
結腸切除術（小範囲切除）	12
結腸切除術（悪性腫瘍手術）	10
結腸切除術（結腸半側切除）	4
腹腔鏡下結腸切除術（小範囲切除、結腸 半側切除）	9
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手 術用支援機器）	58
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	9
内視鏡的大腸粘膜切除術（長径 2 cm 未	1
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	1
腸吻合術	3
腸瘻造設術	3
人工肛門造設術	23
腹腔鏡下人工肛門造設術	28
人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴う）（直 腸切除術後のもの）	9

人工肛門閉鎖術（腸管切除を伴う）（そ の他のもの）	5
腹腔鏡下人工肛門閉鎖術（直腸切除術後 のものに限る）	2
人工肛門形成術（その他）	2
直腸異物除去術（開腹によるもの）	1
直腸腫瘍摘出術（経肛門）	1
直腸切除・切断術（切除術）	2
直腸切除・切断術（低位前方切除術）	1
腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切 除術）（内視鏡手術用支援機器使用）	15
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術） （内視鏡手術用支援機器使用）	8
腹腔鏡下直腸切除・切断術（経肛門吻合 を伴う切除術・内視鏡手術用支援機器使	6
腹腔鏡下直腸切除・切断術（超低位前方 切除術・内視鏡手術用支援機器使用）	3
腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切 除術）	2
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術） （内視鏡手術用支援機器使用）	2
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）	2
腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）	2
腹腔鏡下直腸切除・切断術（超低位前方 切除術）	1
直腸脱手術（経会陰）（腸管切除を伴わ ないもの）	1
痔核手術（硬化療法（四段階注射法によ るもの）	4
痔核手術（脱肛を含む）（根治手術（硬 化療法を伴わない））	1
痔核手術（結紮術）	1
肛門周囲膿瘍切開術	3
痔瘻根治手術（複雑）	1
腎摘出術	1
膀胱壁切除術	1
合計	924

糖尿病・

内分泌内科

呼吸器

内科

消化器

内科

循環器

内科

腎臓内科

血液・腫瘍

内科

脳神経

内科

総合

診療科

外科

呼吸器

外科

脳神経

外科

整形外科

形成外科

心臓血管

外科

泌尿器科

耳鼻

咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔

外科

放射線科

病理

診断科

麻酔科

救急科

医師紹介

医師名	専門分野/認定・専門等
まなせ ひろと 真名瀬 博人 院長	専門分野 ：消化器外科、一般外科、乳腺外科 精中委マンモグラフィ読影医 日本外科学会専門医 医学博士 日本消化器外科学会認定医 旭川医科大学臨床教授 産業医科大学産業医 病院総合医 乳腺認定医 北海道大学客員准教授 総合診療専門研修特任指導医 消化器がん外科治療認定医
いちむら たつのすけ 市村 龍之助 院長補佐 部長	専門分野 ：消化器外科、内視鏡外科、 一般外科 特に胃、大腸癌手術、 内視鏡手術、大腸癌化学療法、 肛門痔疾患の診察・治療 医学博士 日本外科学会認定医、専門医、指導医 日本消化器外科学会専門医、指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 北海道外科学会評議員 日本臨床外科学会北海道支部評議員 インфекションコントロールドクター （ICD）（日本外科感染症学会） 日本DMAT 北海道DMAT 精中委マンモグラフィ読影医 Certificate of da Vinci System Training As Console Surgeon 旭川医科大学 臨床指導教授 北海道大学医学部医学科 臨床指導教授 内痔核に対する四段階注射講習会受講

やまもと かずゆき 山本 和幸 部長 先進低侵襲・ロボット手術センター副センター長、減量サポート・外科治療センター副センター長	専門分野 ：胃外科、大腸外科、内視鏡外科 肥満手術、ロボット手術 医学博士 日本外科学会 外科専門医・指導医 がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器病学会 消化器病専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会評議員 消化器・一般外科（胃）技術認定医 ロボット支援手術認定プロクター （手術指導医）（胃）（結腸）（直腸） 北海道内視鏡外科研究会 世話人 Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon
しょうじ やすひと 東海林 安人 副部長	専門分野 ：消化器外科、内視鏡外科、 救急・外傷外科、乳腺外科 医学博士 日本外科学会指導医・専門医・認定医 日本消化器外科学会指導医・専門医 日本消化器病学会指導医・専門医 日本乳癌学会乳腺専門医 乳がん検診超音波検査実施・判定医師 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会乳房再建責任医師 日本Acute Care Surgery学会認定外科医 日本腹部救急医学会教育医 日本医師会認定産業医 検診マンモグラフィー読影認定医 日本救急医学会認定インフェクションコントロールドクター（ICD） 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本DMAT登録隊員 JATECインストラクター ATOMインストラクター Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon

医師名	専門分野/認定・専門等
くわばら しょうた 栗原 尚太 副部長	専門分野： 消化器外科・肝胆膵外科・ 内視鏡外科 医学博士（北海道大学） 日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本内視鏡外科学会技術認定医（消化器・ 一般外科） 日本内視鏡外科学会ロボット支援手術認定 プロクター（大腸） 日本肝胆膵外科学会評議員 日本腹部救急医学会腹部救急認定医 日本栄養治療学会認定医 緩和ケア研修会修了 T N T 研修会修了 臨床研修指導医 Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon
よしだ なな 吉田 奈七 副部長	専門分野： 乳腺外科 医学博士 外科専門医 乳腺専門医 乳腺認定医 マンモグラフィ読影認定医

医師名	専門分野/認定・専門等
あおき ゆうま 青木 佑磨 医 師	専門分野： 消化器外科 外科専門医 Certificate of da Vinci System Training As a Console Surgeon 腹部救急認定医 消化器がん外科治療認定医 消化器外科専門医 JATECコース修了 緩和ケア研修会修了
とうじま ひろやす 東嶋 宏泰 医 師	専門分野： 一般外科、救急、Acute Care Surgery 外科専門医 緩和ケア研修会修了 Certificate of da Vinci System Training As a First Assistant 日本腹部救急医学会腹部救急認定医
さとう けんたろう 佐藤 謙太郎 医 師	専門分野： 外科

糖尿病・
内分泌内科呼 吸 器
内 科消 化 器
内 科循 環 器
内 科

腎臓内科

血液・腫瘍
内 科脳 神 經
内 科総 合
診 療 科

外 科

呼 吸 器
外 科脳 神 經
外 科

整形外科

形成外科

心臓血管
外 科

泌尿器科

耳 鼻
咽 喉 科

小 児 科

皮 膚 科

眼 科

産婦人科

歯科口腔
外 科

放射線科

病 理
診 断 科麻 酔 科
救 急 科

糖尿病・
内分泌内科呼吸器
内科消化器
内科循環器
内科

腎臓内科

血液・腫瘍
内科脳神経
内科総合
診療科

外科

呼吸器
外科脳神経
外科

整形外科

形成外科

心血管
外科

泌尿器科

耳鼻
咽喉科

小児科

皮膚科

眼科

産婦人科

歯科口腔
外科

放射線科

病理
診断科麻酔科
救急科

診療部長よりひとこと

当院はドクターヘリ運用施設、三次救急医療機関です。そのような施設の外科として、まず救急医療、緊急手術に対応すべく、外科医師一同、日々業務に励んでおります。

各種消化器がんに対しては、消化器内科などとも協同し、正確で高度な診療と、まず根治性が確保される確実な手術を目指しています。可能な症例では、ロボット支援手術に代表される低侵襲で精緻な手術を提供しています。

乳がんの症例数も増えており、乳房再建の手術件数も増加しています。

減量・代謝改善手術も、周辺の多くの医療機関からご紹介いただいております。

院内では多職種チーム医療で、治療中の患者様、ご家族様の不安を少しでも軽減できるような対応を、医療スタッフ全員で心がけております。さらに、多くの専門職による視点を融合させることで、より良い治療成績を提供できるよう努めています。

皆様からのご紹介を通じて、地域に貢献し、地域の皆様が安心して暮らせるよう尽力させていただきたいと思っておりますので、いつでもご連絡・ご相談ください。



減量サポート・外科治療センター



膵頭十二指腸切除術

手術の様子



減量手術



ロボット支援下結腸癌手術



外科スタッフ